

東南アジアと南アジア

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし **アジア州** ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

東南アジアと南アジアでは、どんな産業が発展しているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 東南アジアの農業と工業

東南アジア

プランテーション

植民地時代に開かれた、輸向けの作物を大規模に育てる農園。

ASEAN

東南アジア諸国連合。東南アジアの国々が経済などで協力する組織。

東南アジアでは、季節風による雨を生かして稲作がさかんで、同じ田で年に2回米をつくる**二期作**も行われている。植民地時代に開かれた**プランテーション**では天然ゴムやバナナなどが栽培され、マレーシアやインドネシアでは**油やし**の栽培が広がっている。タイやベトナムは、米の輸出量が世界有数である。

近年は、賃金が比較的安く、働く人も多いことから、外国の企業が工場を建てて電気機械や自動車などの工業が発展している。東南アジアの国々は、1967年に結成された**ASEAN**(東南アジア諸国連合)を通じて、経済などで協力している。シンガポールのように、貿易や金融で大きく発展した国もある。

2 インドの産業と人々

南アジア

アイシーティーさんきょう

ICT産業

情報通信技術にかかわる産業。インドで大きく成長している。

ヒンドゥー教

インドで国民の多くが信仰している宗教。

南アジアの**インド**は、2020年代に中国をこえて、世界でいちばん人口の多い国になったとされる。国民の多くは**ヒンドゥー教**を信仰している。英語を話せる技術者が多いことなどを生かして**ICT産業**が成長し、南部の**ベンガルール**などに関連する企業が集まっている。

農業では、雨の多いガンジス川の下流域で稲作、雨の少ない地域で**小麦**の栽培がさかんである。北東部のアッサム地方では**茶**、デカン高原では**綿花**がつけられている。



東南アジアと南アジア

インドのICT産業は、ベンガルールなどの南部の都市に集まっている。北東部のアッサム地方では茶、デカン高原では綿花の栽培がさかん。

問いへの答え

東南アジアでは、季節風の雨を生かした稲作の二期作や、プランテーションでの天然ゴム・油やしの栽培が行われ、近年は外国企業の工場が進出して工業も発展している。南アジアのインドでは、英語を話せる技術者が多いことを生かしてICT産業が成長し、茶や綿花の栽培もさかんである。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

